

SC 37状況報告

2018/6/13

産業技術総合研究所

山田朝彦

SC 37概要

- タイトル: Biometrics(バイオメトリクス)
- 設立: 2002年
- 議長: Patrick Grother(米 NIST、JTC 1承認待ち)
- 幹事国: 米国(事務局ANSI)
- WG数: 6(後述)
- Pメンバー: 27ヶ国(昨年比: -2)
主要参加国: 豪、独、西、仏、日、英、米
- Oメンバー: 20ヶ国(昨年比: +7)
- 国内専門委員会体制
委員長: 山田朝彦(産業技術総合研究所)
幹事: 浜壮一(富士通研究所)、日間賀充寿(日立)
リエゾン: SC 17、SC 31、ISO/TC 68、ITU-T/SG 17など
- 出版規格数: 121、開発中規格数: 31

SC 37 WG及び総会

- 会期

2017年1月15日から1月19日 WG

2017年1月22日、23日 総会

- 開催場所

イスラエル テルアビブ

- 参加者

SC 37議長・セクレタリ、豪 1、加 1、スイス 1、中 3、独 5、西 1、
フィンランド 3、仏 1、イスラエル 2、伊 1、日 3、韓国 2、
ノルウェー 1、英 3、米 2

SCレベルでの過去1年のトピック

- 議長交代
- モバイルを意識した活動
 - モバイルデバイス上のバイオメトリクスの性能テスト(21879)
 - モバイルデバイスの提示攻撃検知評価プロファイル(30107-4)
 - FIDOアライアンスとカテゴリAリエゾンに加え、情報交換のためのSGを設立しWebEX会議実施
- 中国の活動活発化
 - モバイルシステムのアーキテクチャについてプレゼン(アリペイ)
 - ヒトゲノムタイピングの実験方法に関するNWIP

各WGの活動状況 (1)

- WG 1: バイオメトリック専門用語
 - 審議継続
 - 用語集2382-37は無償提供
- WG 2: バイオメトリック テクニカル インタフェース
 - CBEFF (19785 Common Biometric Exchange Formats Framework) 各パートの改訂
 - BioAPIの00版(30106)各パートの正誤表を含む開発

各WGの活動状況 (2)

- WG 3:バイオメトリックデータ交換フォーマット
 - 提示攻撃検知(30107)
 - パート1枠組み、パート2検知結果のデータ構造、パート3 評価方法は出版済
 - パート4 モバイルデバイスの評価プロファイルをパート3を基に開発
 - データ交換フォーマット第3世代(39794)
 - 後方互換性を持つフォーマット
 - パート1 枠組み、パート4 指紋画像、パート5 顔画像、パート 16全身画像、パート 17歩容に加え、パート6虹彩データを開始
- WG 4:バイオメトリックシステムの技術的実装
 - 監視カメラシステムにおけるバイオメトリクスの利用(30137-1 DIS段階):JEITA監視カメラシステム専門委員会と連携し活動

各WGの活動状況 (3)

- WG 5: バイオメトリック技術の試験及び報告
 - モバイルデバイス上のバイオメトリックスの性能テスト(21879、WD段階)
 - 監視カメラシステムにおけるバイオメトリックスの利用の性能評価(30137-2、CD段階): JEITA監視カメラシステム専門委員会と連携し活動
- WG 6: バイオメトリックスに関わる社会的課題
バイオメトリックシステムで使用する図記号(24779シリーズ)
 - パート1 枠組み、パート 4 指紋、パート 9 静脈は出版済
 - パート5 顔画像がDIS段階

ご清聴、ありがとうございました